

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

p-キシレンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

6 B 7 1 9 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1)被験物質： *p*-キシレン
- 2)暴露方式： 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)
- 3)供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4)暴露期間： 96時間
- 5)試験濃度： 対照区, 助剤対照区, 2.00, 4.00, 8.00, 16.0および32.0mg/L
(設定値) (公比; 2.0)
(助剤; HCO-30使用, 助剤最高濃度32mg/L)
- 6)試験液量： 5.0L
- 7)連数： 1 容器/濃度区
- 8)供試生物数： 10尾/濃度区
- 9)試験温度： 24±1°C
- 10)照明： 16時間明/8時間暗
- 11)被験物質の分析： H P L C 法

結 果

- 1)試験液中の被験物質濃度：測定濃度の設定濃度に対する割合はすべての濃度区において
±20%以内であった。したがって、結果の算出は設定濃度に基づいて行った。
- 2)96 時間の半数致死濃度 (LC50) : 11.3mg/L
(95%信頼区間 : 7.77mg/L~18.9mg/L)